



第42回日本重症心身障害学会 学術集会に参加して

5-B 柿原 富美 , 4-2 丸茂 晃平



9月16日～17日に札幌で行われた第42回日本重症心身障害学会学術集会に参加しました。特別講演では「重症心身障害児者支援と人材育成」教育講演では「重症心身障害を有する子どもとのコミュニケーションと環境について」、他シンポジウム、ランチョンセミナー、ファッションショーなど様々なプログラムで構成されていました。当センターからは医局、訓練科、看護科合わせて、計8題の発表があり、看護科からは「重症心身障害児者施設の新人看護師が経験したリアリティショックと克服する過程」「重症心身障害児（者）にとっての望ましい看護記録とは 一経過記録に焦点をあてての考察」「重症心身障害児・者看護の魅力 一離職をとどまり、続けてよかったという体験から」の3題を発表しました。それぞれ活発な質疑応答や今後の継続した取り組みを期待してくださる意見もあり、大変励みになりました。一般演題の中で、特に興味深かったのは、現在当センターでも直面している重症心身障害児者の緩和ケアに関するものでした。今後の



緩和医療、看護に活かせる内容でした。また今回、学会に参加させていただいたことで、改めて重症心身障害児者の生活、医療を支えるためには他職種との連携が大切であるということを再確認することができました。学会で得た知識をセンター内で共有し、医療・療育支援の向上を図っていきます。

フール納め

指導科 石田 泰美



9月9日（金）、プール納めを行いました。当日は、プールのある中庭に利用者が集合しましたが、病棟のベランダから参加してくださった方もたくさんいらっしゃいました。

今年の会は、利用者にも参加してもらった寸劇です。

内容は・・・この夏、ちっとも魚が釣れなかった2人の漁師さんが、親切な山の人（病棟の利用者さん）から餌ボールをもらいます。ここでは、ひもを使って上の階の利用者から餌ボールの入った袋を下してもらいました。しかし、4人の悪者が登場して、その餌ボールは会場にばらまかれてしまったのです。困った、困った！そこで応援してくれたのが会場にいた利用者の皆さんでした。バラバラになってしまった餌ボールを全部拾い集めてくれた

のです。おかげで漁師さん達は、無事に水の神様（院長）を呼んで、餌ボールによく釣れる魔法をかけてもらうことができました。

この夏は、晴天の日が少なかった印象ですが、貴重な夏日にプールに入った利用者の皆さんは、とても気持ちよさそうでした。

来年も、楽しいプール活動ができるとよいですね♥（あ、水の神様が、来年のことも魔法をかけてくれたので、きっと大丈夫でしょう！）

最後に、協力してくださった利用者の皆さん、スタッフの皆さん、どうもありがとうございました。



秋のコンサート

5-A 紺野 あけみ

9月15日（木）永井尚子さん・田原亜紀さんをお招きして、ソプラノコンサートを行いました。

「アンパンマン」のテーマ曲からスタートし、ジブリの音楽「さんぽ」「天空の城ラピュタ」やしっとりとした音楽「青春の影」など演奏してくださいました！

開始前は、目を閉じ眠っていた利用者も聞きなれた音楽に目を開き、じっと聞き入っている様子が見られました。また、歌の間にタイミングよく声を出す利用者もいてとても楽しんでいる様子がうかがえました。歌・ピアノ・聞き手が一体となり素敵なコンサートでした。最後には、突然のアンコールにも応えて頂き「となりのトトロ」を皆で唄い秋のコンサートを満喫しました！！



秋のお楽しみ会

3-2 柏木 奈穂美

9月16日（金）3-2病棟では秋のお楽しみ会&誕生会としてボランティア団体「音種♪」によるコンサートを行いました。

いろいろなメンバー構成で音楽を届けにきてくれる「音種♪」ですが、今回は歌、尺八・篠笛、ピアノ、踊り、パーカッションの5名でした。普段あまり聴く機会のない尺八の演奏には、皆さん目が釘付けになっていました。それぞれの楽器や歌のハーモニー、踊り、それに利用者も一緒に民族楽器を借りて楽器を鳴らし参加しました。沢山の笑顔がうまれた1時間になりました。

誕生会によせて誕生者のみなさんには「生きてこそ」の歌をプレゼントしてもらい、誕生者の3名は大喜びでした。一緒に聞いているみんなもとても幸せな気分になれました。「優しさにつつまれて」や「童神（わらべがみ）」の様なしっとりとした曲から「手のひらを太陽に」のような元気な曲まで様々な曲で楽しませてもらいました。

「音種♪」のみなさんからも「みんなの笑顔や様々な表現に得られるものが大きかった」と言って頂きました。

今回素敵な「音」と「踊り」の種を植えてもらったので、これからも音楽を通じて繋がっていったら良いと思います。



秋の招待観劇会

2-A 小嶋 映子

2-A病棟では秋の招待観劇会で、マリンバ演奏者の宮野下子竜さんに来ていただきました。

クラシックから始まり、利用者要望の「アンパンマン」や「秋の童謡」を聴きました。知っている曲が流れてくると笑顔になったり、綺麗な音にとっても楽しそうに聴いていました。演奏の最後にはアンコールで水戸黄門の「わが人生に悔いなし」を演奏してもらいとても盛り上がり終了しました。



認定看護師誕生報告

看護担当科長 川代 たつ子

新たに緩和ケア認定看護師と感染管理認定看護師の2名が誕生しました。

当センターの利用者も高齢となってきており、緩和ケア認定看護師の活躍は欠かせないものと確信します。

感染管理認定看護師は2人目の誕生です。昨今感染予防対策は、数年前とは比較にならないほどの対応に迫られています。そんな中、2人目の誕生は、力強いものです。

今回2名の誕生によって認定看護師は合計6名となりました。各分野について専門に学んだ認定看護師と共に、利用者にとって何がより良いことなのかを一緒に考えていきたいと思っています。

健康訪問教室「肩こり・腰痛の予防と体操」

事務室 山口 裕輔



9月14日（水）あじさい館多目的室にて平成28年度訪問健康教室「肩こり・腰痛の予防と体操」が開催されました。講師は東京都職員共済組合のマッサージ師の山口和馬氏です。

前半は、肩こり・腰痛を発症することについて、人間の体の構造や日々の生活習慣に焦点を当てた講演でした。また、発症しないための日々の取組みについて、日々の電車の中での取組み等、実践しやすい運動を教えてくださいました。

後半は、腰痛にならないための体操や肩こり予防のため体操について実演していただきました。普段動かさにくい筋肉ではありますが工夫して動かすことにより十分に腰痛予防となるトレーニングや肩こり予防のための肩甲骨を動かす体操を実際に体験しました。

今回、ご講義いただいたことを参考に、私生活から体の健康を保持し、利用者により良いサービスを提供できればと思います。



第8回 センター祭 <舞台発表プログラム>



<10月14日（金）>

晴天時: グランド舞台
雨天時: 通所棟2階 理学療法室

10:30 開会式(院長挨拶)
10:35 オリンピックの思い出2016:通所
10:55 秋祭りだよ! 全員集合! :くぬぎ分教室
11:15 ジャズバンド: JULIE'S CLUB
~ お昼休み ~
13:30 ハワイアンバンド: パームエコーズ
14:00 人生の節目のお祝い
14:20 はらぺこハンドベル: 5-A
14:35 2-Aの英雄たち: 2-A
14:45 一緒に踊ろう エビエビ カニカニ: 1-A

<10月15日（土）>

晴天時: グランド舞台
雨天時: 通所棟2階 理学療法室

10:30 コーるモッチ
10:40 ボランティア表彰
10:45 スイングビーツ
~ お昼休み ~
13:00 若松リコーダー隊
13:55 コーるモッチ
全体制作お披露目
14:15 JULIE'S CLUB
(雨天時は二部制になります。)
14:55 閉会式(事務長挨拶)

~お待ちしております!~

摂食嚥下の講習会や、ゲーム・体験コーナー、展示、出店などもあります。
講習会は両日ともに12:45~13:45 “あじさい館”にて行われます。 ※予約不要

〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>